

健脚競って ランランラン



3月21日、市役所前を発着点に「2010 刃物のまち関シティーマラソン」が開催され、北は北海道、南は福岡県から約2,000人のランナーが集まり健脚を競いました。この日は強い西風が吹いていて、選手

たちは大変走りにくそうでしたが、沿道の声援や、第30回全国豊かな海づくり大会マスコット「ヤマリン」とぎふ清流国体マスコット「ミナモ」の応援を受けて、早春のまちを元気よく走りました。

あんな事、こんな事



花いっぱい^との憩いの池に

農業用のため池として、また地域住民の憩いの場として利用されている下有知の赤谷池で3月14日、植樹祭が開催されました。第30回全国豊かな海づくり大会の開催記念と、地域環境の向上を目的に行われ、地元住民など150人が参加しました。参加者らは苗木とスコップを持って、池の周囲にあらかじめ掘られた穴に1本ずつ植えていきました。

ふいごの羽口や砥石が出土

下有知重竹地区を中心に広がる重竹遺跡発掘調査の現地説明会が3月14日開催され、地元住民や市内外の考古学ファンなど約70人が参加しました。奈良時代を中心とする遺物が多数出土しているこの場所での説明会は午前と午後の2回行われ、集まった参加者らは、市文化財保護センターの職員による説明に熱心に耳を傾け、古代のロマンに思いをはせていました。



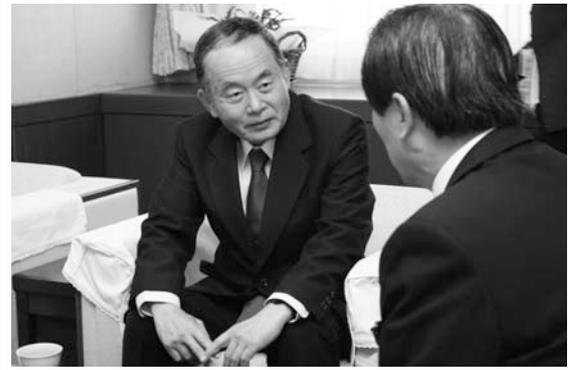


素朴な音で大会を演出

西本郷通の有限会社ウッドシェフ・ムラヤマ(村山邦夫社長)で、森・川・海をイメージしたカスタネットの製作が行われました。このカスタネットは県を代表する高級材「東濃松」を使っており、同社では焼き印以外の工程を担当。葉・魚・貝の3種類の型があり、第30回全国豊かな海づくり大会で、6月13日に池尻の長良川河畔で行われる放流・歓迎行事の招待者に記念品として渡され、行事の中で使われる予定です。

交流の架け橋に

平成21年度4次隊シニア海外ボランティアとして3月23日から南太平洋の島国フィジーに赴任した十六所の西修武さんが、出発前に尾藤市長を訪問しました。中日本航空専門学校(迫間)で航空機の整備などを教えている西さんは、以前から海外ボランティアに興味を持っており、「航空整備士としての経験を生かして、両国の交流の架け橋となるよう頑張ります」と話していました。



礼儀も作法も一人前

前町の松浜保育園で3月16日、園児のおじいちゃん、おばあちゃんを招いてのお茶会が開かれました。同園では年長児を対象に1年間かけて茶道を学んでいます。この日はおじいちゃんやおばあちゃんを招いていることもあって、いつもよりもとても緊張した面持ちで、お茶を静かに丁寧に運んでいました。参加した祖父母からは「今日は孫が頼もしく見えました」とうれしい声が聞かれました。

香り高いベンチで休んで

3月19日、洞戸通元寺の桑原木材工業株式会社(桑原和男社長)からヒノキでできたベンチ3脚が関市に寄贈されました。第30回全国豊かな海づくり大会に向けて、国産木材の良さを見直してもらおうと、間伐材ではなく、洞戸に生える樹齢100年以上の純国産のヒノキを使って作りました。桑原さんは「このベンチに座って、日本の木の香りや肌触りの良さを感じてほしい」と話していました。



こぼれ話



市内企業の販路拡大や観光誘客の促進をはじめとする包括的な連携協力を進めるため、関市は楽天(株)と連携協力に関する協定を結びました。

その連携事業の一環として、インターネットショッピングモール「楽天市場・まち楽岐阜」に刃物製品や特産品25品目をとりまとめた「関市ミニ物産展」が開催されています。また「まち楽」の中に関市職員ブログ「関らら日記」を開設しています。これは、市の職員約150人が中心的な書き手となって、地域

の商品、お店、イベントなど市に関連のあるものを、職員個人の主観で選定し、いわゆるお役所的な表現などを使わず、親しい友人、知人に紹介するようなイメージで毎日更新(土、日、祝日を除く)されていきます。この原稿執筆時点では5件の記事が掲載されています。皆さんも一度ご覧ください。新しい発見が出来るかも?

●「楽天市場・まち楽岐阜」アドレス

<http://event.rakuten.co.jp/area/gifu/>

●関市職員ブログ「関らら日記」アドレス

<http://plaza.rakuten.co.jp/machi21seki/>